



## 美しい島 「佐渡」

佐渡市教育長 渡辺 剛忠

平成21年度の全国版画甲子園選手権大会がさる3月20日から3日間、相川で開催されました。

審査の結果、全国から予選を勝ち抜いた13校のうち県立佐渡高校チームの作品「佐渡を食らう」が文部科学大臣賞のグランプリに輝きました。

このたびの本戦大会出場校に青森県立弘前実業高校がありました。当校は今回で本選大会出場3回目になる版画教育に熱心に取り組んでいる学校です。昨年度は美術部(顧問：坂本文範先生)が、文化祭で本戦大会の作品展を開催しました。その作品展の案内要項に佐渡が紹介されています。弘前実業校のチームは作品の題材を探して何回も島内をまわり、次のように佐渡をイメージしています。

「佐渡は、美しい島です。

佐渡は、美しい自然と美しい風土・文化、その文化を守り創り伝える人たちの美しい島です。

海で働く漁師さんが実は、能の役者さんだったり、公民館の館長さんが実は裂き織りの伝承者だったり・・・。

人形使いの方、音楽家、太鼓演奏者、画家、金属工芸作家、竹芸家・・・。

なんとこの島には、自然と生活の中に芸術を楽しんでいる人が多いことか。

芸術の中から明日の生活が生まれたり、自然や生活の中から明日の芸術が生まれる島。

時間のゆったり流れている島。歴史の光と影の交錯する島。」

新しい年度がスタートしました。今日的な課題にしなやかに取り組むと共に、この「美しい島」を是非後世につないでいこうではありませんか。



## 平成22年度佐渡市学校教育の重点

佐渡市総合教育センター所長 宮川 安則

南中を定年退職し、漁師をしながら佐渡の自然の美しさを改めて発見したり、鬼太鼓を踊って伝統芸能の魅力に浸りきったりしていた2年間でした。この度呼びが掛かり、教育委員会に勤めることになりました。激変する世の中、まさに浦島太郎の心境に近いものがあり、かなり戸惑っていますが、佐渡市学校教育の一支援者として頑張りたいと思います。

さて、佐渡市学校教育の基本目標は、『**確かな学力を身に付け、夢と誇りをもって自立する人づくり**』です。具体的には、**意欲をもち、確かな学力を付ける教育の充実、郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実、生きがいを見付け、自立を目指す教育の推進**の3つです。

そこで、今年度は「**確かな学力**」との「**郷土を愛し**」を取り上げ重点施策としました。詳細は後日提案しますが、骨子だけを掲載します。

**学習意欲向上プロジェクト... 算数・数学、英語の学力偏差値を全国平均にする。地域、家庭と協力し、宿題(家庭学習)の習慣化を図る。**これは、毎年実施される学力検査の結果からの向上施策です。現行の中学校区計画訪問事業の中で推進してください。

「**佐渡学**」の学習活動をより積極的に進める。「**佐渡金山**」「**トキ**」の学習の教材化を進める。**佐渡の伝統芸能の学習を進める。**今年度は、佐渡を象徴する文化の一つ「**佐渡おけさ**」を取り上げました。未来を拓く佐渡市内の小・中学生が成人したときに「**佐渡おけさ**」を歌ったり、踊ったりできることが望ましいと考えました。

各校では、児童生徒の実態に基づき熱意あふれる教育活動がスタートしたことと思いますが、この趣旨が理解され、積極的な取組が展開されることを大いに期待します。

## 地域に信頼される学校づくり

管理主事 羽二生 裕

島内の桜が満開となり、春爛漫の季節を迎えました。各学校では、今年度の学校経営方針、教育計画等を全職員で確認し合い、順調に教育活動を始動させていることと存じます。

県教委では平成22年度、特に重点的に取り組む事項を「重点事項」として、4点掲げています。

- (1) 全校体制で取り組む学力向上
- (2) いじめや問題行動、不登校等に対応する生徒指導
- (3) 豊かな心をはぐくむ道德教育
- (4) たくましく生きるための体力向上

各学校では、それぞれの事項について、地域や自校の児童生徒の実態に即して、取り組む事項を重点化して課題解決に向けて、職員の主体性と創意工夫を生かした取組を計画的・継続的に推進していただきたいと願っています。

佐渡市教育委員会学校教育課では、今年度特に(1)全校体制で取り組む学力向上について、各学校を全面的に支援していきます。その柱になる事業が「学習意欲向上プロジェクト事業」(新規)です。今後、各学校と連携・協力し、この事業を推進していきます。

なお、これら4つの重点事項を各学校で取り組む際、以下の2点をポイントに推進してください。

職員の共通認識の上に立った、**全校体制による組織的な取組**  
各中学校区における小・中学校の連携、**家庭や地域社会との連携による取組**



## 管理・指導業務担当職員紹介

昔から「教師は授業で勝負する」という言葉があります。学校教育課では、児童・生徒が主役となる授業づくりを目指す教師を積極的に支援しています。今年度から始まる「学力向上にかかわる学校訪問」や「総合教育センター主催の各種研修講座」等の機会を有効に活用ください。



佐渡市教育委員会学校教育課では、今年度管理・指導部門で2名の異動がありました。よろしく申し上げます。

退職

管理主事 児玉 勝 巳  
佐渡市立加茂小学校長へ  
佐渡総合教育センター所長  
小林 祐 玄

新任

管理主事 羽二生 裕  
阿賀野市立神山小学校長より  
佐渡総合教育センター所長  
宮川 安 則

現職

指導主事 川上 治 男  
教育指導主事 濱田 毅  
・生徒指導業務、人権教育、同和教育担当  
教育指導主事 逸見 修  
・佐渡総合教育センター業務担当  
下越教育事務所 学校支援第1課  
指導主事(佐渡市派遣) 本間 健人

学校教育課の広報「きょういく・さど」を年間5回発行します。限られた紙面ですが、いろいろな角度から教育情報を発信したいと考えています。学校配信だけでなく、佐渡市のホームページにも掲載してあります。お気付きの点やご意見がありましたら担当までお知らせください。(担当 川上・本間)